

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	島根県 土木部 土木総務課 建設産業対策室
-----------	-----------------------

事業等の名称	しまねの建設担い手確保育成事業
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	現場見学
1. 実施時期 通年	
2. 実施場所 県内各地	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） 事業の実施主体は、県建設業協会及び地区建設業協会。参加者数は「5.」に記載	
4. 共催・単独等の開催状況 単独	
5. 事業等の内容 以下の取組について補助金を交付。（1）～（3）については、厚労省助成金の受給を要件とした。 （1）合同企業説明会の開催（参加者 200 名） （2）現場見学会等の開催（15 回で参加者 565 名） （3）若年者の資格取得に向けた講習会の開催（参加者 40 名） （4）女性の入職促進・就労継続に向けたイメージアップ活動の実施 （5）若年者・女性の入職促進のための広報活動	
6. 期待される効果（実施結果：効果） （1）建設産業のイメージアップ （2）建設産業への入職促進・定着	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 （1）制度周知等による取組件数の増 （2）離職率低減に向けた取組への支援強化	
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

Q 自身の今後の目標・スキルアップ

1位 資格取得

- 1級建築士・土木施工管理技士・コンクリート主任技士・インテリアコーディネーターなど

2位 コミュニケーション力UP

- 建設業の仕事は一人ではできないため、お客様だけでなく、一緒に働く仲間とのコミュニケーションが大事。

その他

- 課長になる
- 定年まで勤め上げる。会社をでかくする!
- 様々な業種を経験する。



Q これからの未来に、会社や建設業界全体に望むこと

1位 給与・休暇の充実

- 制度はあるが、もっと取得しやすい雰囲気作りをしてほしい

2位 女性や若手へのアピール

- 文系女子でも働けることをPRしてほしい
- 実際に仕事をしている女性から、実際に話をする機会を増やしてほしい

その他

- 「なぜ女性を採用するのか」を各企業で明確にしてほしい
- 「建設業の魅力」を業界全体で語れるようになってほしい

夜は、島根県知事をお迎えして 交流会を開催しました♪



丸山 達也
島根県知事



乾杯~!



しまね
イメージアップ
女子会会長
川井 香織

建設業に携わる 女性による 意見交換会

ご縁の国しまねで
集まれ!
建設女子



しまね建設産業イメージアップ女子会は、11月1日に、全国約100名の建設業に携わる女性と、県内の建設業に携わる学生・経営者を集めて、意見交換会を開催しました。

基調講演では、高橋建設株式会社代表取締役社長 高橋宏聡さんと、一般社団法人土木技術者

女性の会副会長 牛山育子さんにご講演いただきました。

意見交換会では、第1部:「これまでの自分」、第2部:「これからの建設業」と題して、参加者が10班に分かれて、女性が建設業に携わる魅力や、これからの建設業のあり方について意見交換しました。



建設業界で もっと女性が活躍するために

高橋建設株式会社 代表取締役社長 **高橋 宏聡**さん

高橋宏聡さんは平成27年5月に、高橋建設の代表取締役社長に就任しました。会社設立当初から、女性社員を積極的に採用し、平成29年より「健康経営優良法人」に3年連続認定されるなど、働きやすい環境整備に努めています。

平成18年から始めた女性社員ミーティングでは、3ヶ月に1度、職場環境や健康管理について、悩み等を共有する場を設けています。そこでは、女性のみで話しやすい雰囲気を作ることに配慮しています。その他にも、現場事務所の女性専用トイレの設置、子の看護・育児休暇制度及び長期休暇後の職場復帰の支援など、充実した取り組みを紹介しました。

女性活躍を推進する上でのポイントについて、「女性を特別扱いするのではなく、女性と男性がお互いに尊重し合いながら仕事をできる環境を作っていくことだ。」と考え、社員旅行や地域のお祭りなどに社員全員で参加する機会を作り、社員同士のコミュニケーションを大切にしています。

さらに、高橋さんが女性活躍推進を進める理由として、「建設業界は女性の力が発揮できる業界であり、この業界で働く女性が優れているからだ」と言います。

最後に、「建設業界で、更に女性の入職が進むことを強く願っている。」と、未来の建設業に向け、エールを送りました。



女性が 建設業に携わる魅力とは

一般社団法人土木技術者女性の会副会長 **牛山 育子**さん

牛山育子さんは、平成6年4月に大阪府庁に土木職として入庁しました。

牛山さんの考える建設業に携わる魅力とは、「作ったものが後世まで残ること、新設だったら地図に残る仕事になること」。自身の携わったバイパスが地図に掲載された時に、「たった800メートルだったけど、自分の造ったところが地図に残る感覚を味わい、感動した」と振り返りました。

建設業界の今後の課題は、ワーク・ライフ・バランスを実現するための制度は充実してきたので、その制度を実際に使える職場環境にしていくことだと言います。そのために、「まずは当事者である女性自身

が、仕事第一優先で働く“スーパーウーマン型”でなく、仕事と生活の両立を図る“ワーク・ライフ・バランス型”で働き続ける意識を持たなければならない。また、意識を変えるべきなのは、男性も同じ。女性が働きやすい職場は男性も働きやすい。職場全体で働きやすい環境に整えていくべき。そのためには、建設業界で少数派に当たる女性の働き方に、男性があわせてみる。そのような環境が、いつか“特別”から“当たり前”になる日が来る」と笑顔で語りました。



約100名が10班に分かれ、テーマごとに意見交換

ワーク ショップ

多かった意見を テーマ別ランキングでご紹介!

Q 今までの仕事で嬉しかったこと、やりがいを感じた瞬間 *

1位 施主さんや住民の方から喜んで貰えたとき

- 住宅が完成した時、施主さんに「ありがとう」と写真付きのメールをいただいたとき
- 建具の取り付けに行って、「すごい!頼んでよかった!」と言われたとき

2位 工事が完成した時の達成感

- 完成した現場を見たり、通ったりするとき
- たくさんの人と一緒に作り上げた現場が完成したとき

3位 資格取得

- だんだんと専門用語が分かるようになり、資格を取得できたとき

その他 ●若い社員が笑顔で働いているとき



Q 男性より女性の方が得意だと考える仕事内容 (自身が得意だと思う仕事内容) *

1位 コミュニケーション力・気配り *

- 住宅の照明器具の提案や水回り関係のことは、奥様と女性同士でお話ができるので、女性の方が気配りできます

2位 CAD 操作や資料作成等における細かい作業



Q 自身の職場に対する入職前後のギャップ

1位 思っていた以上に現場の男性が優しい

2位 事務作業が多い



(別添様式2)

令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）新たな取組予定

機関・団体等の名称	島根県 土木部 土木総務課 建設産業対策室
-----------	-----------------------

事業等の名称(仮称)	しまねの建設担い手確保育成事業（女性活躍推進員設置事業）
主な対象者	企業（従業員含む）
主な取組区分	その他
1. 実施時期（予定） 通年	
2. 実施場所（予定） 県内各地	
3. 対象者（参加見込） 建設事業者	
4. 共催・単独等の開催方法（予定） 単独	
5. 事業等の内容（予定） 女性活躍推進員を設置し、女性活躍に関する相談対応と支援策活用による環境整備等を働きかける。	
6. その他	

注1：新たな取り組みがある場合のみ提出してください。

注2：提出資料は電子データとしてください。

注3：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。